

## PCT 出願に係る米スウェーデン間のパイロットプログラムを開始

2007年9月19日  
JETRO NY 澤井、中山

米国特許商標庁(USPTO)は17日、米国を受理官庁とするPCT国際特許出願に対して、スウェーデン特許庁(PRV)<sup>1</sup>が米国のために国際調査等を行い得るか、その実現性について試行するパイロットプロジェクトを開始すると発表した。<sup>2</sup>

同パイロットプロジェクトは、米国を受理官庁とするPCT国際特許出願に対する国際調査等のアウトソーシングの実現性を評価するものであり、既に豪州知的財産庁(IP Australia)<sup>3</sup>との間では05年11月から同様の取り組みを開始。本年2月には、米豪両国特許庁が、件数を大幅に増やし継続実施に合意したところでもある<sup>4</sup>。

今般のUSPTOの発表によれば、スウェーデンとの本パイロットプロジェクトは、種々の技術分野をカバーする50件のPCT出願に対して実施し、スウェーデン特許庁による成果がUSPTOの品質基準に適合するものか否かレビューするとしている。

現在40万件の国内出願と約5万件のPCT出願による審査負担から、75万件の最終処分待ち案件を抱える中、本パイロットプログラムは、PCT出願の審査リソースを国内出願へ振り向けることにより、滞貨縮小を図ろうとするUSPTOの取り組みの1つ。他方、スウェーデン特許庁は、かかるプロジェクトの実施により、PCT制度発足当初(78年)からの国際調査機関(ISA)及び国際予備審査機関(IPEA)としての一層のPCT制度への貢献と国際的な役割をアピールするねらいがある。

(了)

<sup>1</sup> <http://www.prv.se/english/default.html>

<sup>2</sup> <http://www.uspto.gov/web/offices/com/speeches/07-40.htm>

<sup>3</sup> <http://www.ipaustralia.gov.au/>

<sup>4</sup> [2007年2月8日付け知財ニュース「PCT国際調査及び国際予備審査に係る米豪協力、新たな段階へ」](#)を参照